

活動名「ふるさと種市 ―われら海の子―」

～「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」～

1 はじめに

(1) 種市地域の概要

種市は「南部もぐりとうにの里」というキャッチフレーズのとおり、漁業がさかんである。子どもたちは小さいころから海に親しんでいる。

また、種市の自然や漁業についての学習に際しては、学習材だけでなく、学習支援者が豊富である。たくさんの保護者や地域の方、事業者の協力を得ながら、様々な体験的な学習を行うことができる。

(2) 岩手県・洋野町としての取り組みとの関連

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしながら、「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの視点で学習材を見直し、「ひろの学」として統合した。

「ひろの学」では、海洋学習を通してふるさとを学びなおし、ふるさとを大切に思い、よりよい地域をつくらうとする気持ちを育てることをねらいとしている。

2 活動の概要（年間活動計画）

時期	【教科】(学年) 計画事項・実施内容	備考(連携・協力等)
5月	【道徳】(1～6年) 自然愛・生命尊重授業 【総合】(5年) 種市の海と森5～10月(やませと稲作; 5月) 【総合】(6年) ふるさと種市に生きる5～2月(リエンテーション; 5月)	地域ボランティア (5年バケツ稲田植え指導)
6月	【総合】(4年) 海洋教室・漂着物調査 【生活】(1, 2年) 海洋環境紙芝居 【行事】(1～3年) 磯遊び 【行事】(4～6年) 海浜清掃 【総合】(3年) 種市のよさを探そう6～2月 【総合】(6年) 函館の町見学・修学旅行	八戸海上保安部 種市漁協、八戸海上保安部、PTA、役場町民生活課 函館海洋センター
7月	【総合】(6年) 「海洋サミット」に参加しよう(発表資料作り)	
8月	※「海洋教育こどもサミット in ひろの」「海はともだち」参加(発表、他校交流等) (※発表; 6年代表 参加; 5, 6年希望者) 【総合】(4～6年) 「海洋サミット」参加報告会	洋野町教育委員会 保護者参観
11月	【行事】(1～6年) 「ようこそ先輩」(開校記念講話)	種小卒業生講演
2月	【総合】(4年) 津波防災教室(種市漁港防潮堤見学)	種市漁協、消防団
3月	【行事】(1～6年) 3.11防災集会	避難所体験 講話; 未定

3 成果と課題

- 《成果》
- ・様々な職種の方と交流することで、将来の夢が広がったり、種市の良さを発見したりすることができた。（農業・漁業関係者、八戸海上保安部、函館海洋研究センター、卒業生講話等）
 - ・支援者の協力により、子どもたちは興味・関心をもって活動することができた。
 - ・「海洋教育こどもサミット in ひろの」に参加したり、その報告会で意見交流したりすることで、子ども達の視野や興味・関心が広がった。知識を得るだけでなく、まだ実現されていないことをめざしたり、未来を想像したりする姿がみられるようになった。

- 《課題》
- ・支援者の協力により、活動が充実しているように感じる一方、「自分で調べる」「自分で課題を追及する」学習活動が不足している。児童の課題追及に応じた学習材の開発とともに、支援者の活用についても様々なバージョンを構想していきたい。
 - ・学年に応じた系統的な学習計画の吟味と、学習内容を個々の課題として発展させる工夫が必要である。



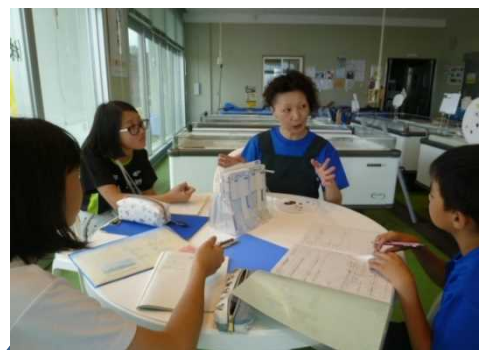
世界環境デーに合わせ、一～三年生は磯遊び、四～六年生は海浜清掃を行っています。合言葉は「世界は海でつながっている」



海に親しむとともに、自然の大切さを知り、海を守ろうとする気持ちを育てます。

こどもサミットの発表者です。

函館にも負けない種市の良さを再発見できました。種市のよさに気づかないなんて「もったいない！」という思いを広めました。



種市の宝を求めて、色々な人にインタビューをしました。テーマは「もったいない」



1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしながら、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 3学年の重点目標

「種市のたからものをさがそう」をテーマに身近な地域の自然、社会、文化の様子やそこに住む人々の良さを知る。

学期	1 学 期				2 学 期			3 学 期			備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2
単元名	「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「種市のたからもの」 ※ コンピュータリテラシー・各活動とリンク											
親しむ	オリエンテーション(3) ぼくらは種市たんけん隊(17) ・種市の海の生き物を調べよう (10) ・海の生き物図鑑を作ろう (7)				種市ふるさとのたからもの① (25) ・教室をとび出そう (町見学・インタビュー・調べ学習) (20) ・心で感じるハンディキャップ (体験学習) (5)			種市ふるさとのたからもの② (10) ・種市の特産メニューを作ろう (7) ・発信、ふりかえり (3)				
知る	・磯遊びで発見 (体験学習) * 地域の方と交流しながら活動させたい。				・町に出よう(探検計画 関連;社会科) * 町の自慢、行ってみたいところ、お薦めの場所をポイントに計画させる。 ↓ ・探検。見学、インタビュー(公共施設、商店、観光施設等) * 施設の機能や景観だけでなく、そこで働く人々の様子や思いを捉えさせたい。 * 関連してボランティア体験も入れたい。			・特産品を調べる(取材・紹介) ・GTによる出前授業等(郷土食試食)				
守る	・探検、見学(漁協、栽培センター、産直等) ・海の生き物調べ(図書館、インターネット、漁協等)				↓ ・見学、インタビューを新聞にまとめる。 * 町の良さ、海の大切さに気付かせたい。 ・新聞掲示、感想交流等 * 今後の課題追求につながるよう交流させたい。			↓ ・特産メニューを考える。 * 地元の方に手伝ってもらいながら、実現可能なメニューを考案する。 ↓ ・調理、試食(体験学習) * 生ものはGTが扱い、児童は見学する。 * 海産物だけでなく、様々な食材を教 * 食と「資源を守る」を関連づけて考えさせる。				
活用する	↓ ・海の子絵画展作品に取り組む * 海の良さを表現させたい。 * 生き物の絵はリアルに描かせたい。 ・生き物図鑑、絵画集作成				↓ ・特産品メニューのPR (新聞、ポスター、お礼状等) * 食と「資源を守る」ことを関連づけて考えさせる。							

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストーリーマップ

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしながら、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 4学年の重点目標

「すみよい種市」をテーマに自分たちができる防災や町づくりについて考える。

学期	1 学 期				2 学 期			3 学 期			備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2
単 元 名	「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「すみよい種市」 ※ コンピュータリテラシー・各活動とリンク											
	オリエンテーション(1)	すみよい町 種市 ①(20) ・町民生活の問題 (町内施設見学等) (10) ・漂着ゴミ調査 (5) ・海洋防災教室 (5)				すみよい町 種市 ② (24) ・広域事業の役割 (社会科関連 広域連合施設見学) (15) ・防災マップで調べよう (9)			よりよい種市にしよう(10) ・種市の町づくり提案 (学習のまとめ発表会)			
	親しむ					<ul style="list-style-type: none"> 津波防災教室①(種市高校海洋開発科の出前授業) *防災とともに、種市高校海洋開発科の取り組み方や、学科の特性についても学ばせたい。 津波防災教室②(消防署、広域連合の出前授業) *実際に防波堤や水門、被災の様子を見学することで、防災意識を高めたり、具体的な防災技能を学ばせたい。 						
	知る	<ul style="list-style-type: none"> 生活ごみ調査(関連:社会科) ゴミ集積所、町民生活科見学 海洋環境教室、海浜清掃、漂着ゴミ調査 *八戸海上保安庁の出前授業から、課題を見つけて活動する。 							<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを発表原稿、ポスター等にまとめる。 *発表を聞き合い、感想を交流することで学習成果を確かめさせる。 *保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせえる。 *防災以外(町づくり)にも、視点を広げたい。 			
	守る	<ul style="list-style-type: none"> 海の子絵画展作品に取り組む(関連:図工) *海の良さを表現させたい。 *海浜清掃活動と関わらせ「いつまでも残そう 青い海」というテーマを意識させる。 海浜清掃、漂着ゴミ調査結果を新聞にまとめ、地域に啓蒙する。 				<ul style="list-style-type: none"> 防災マップの活用 *既成の防災マップを活用し、自分の家、学校、遊び場等の状況の確認し、防災の趣味レーションをする。 新聞掲示、感想交流等 *今後の課題追求につながるよう交流させたい。 						
活用する								<ul style="list-style-type: none"> 学習成果発表会 *誰に発表するかも含めて計画させる。 *GT等、学習に関わった方々に成果をお知らせすることで感謝を伝える。 				

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストーリーマップ

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしながら、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 5学年の重点目標

「森と海の恵み」をテーマに、地形、気候等の自然環境との関りで海を捉えななおし、洋野町の種市地域（海側）と大野地域（山側）をつながりとして学習する。

学期	1 学 期				2 学 期			3 学 期			備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2
	<p>「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「森と海の恵み」 ※ コンピュータリテラシー・各活動とリンク</p>											
単元名	<p>オリエンテーション(1)</p> <p>米を作ろう(40) ・農家の方から教えていただきながら栽培活動を行う。 ・自然にやさしい農業のあり方を調べ、環境保全について考える。(2学期) ・種市の稲作の歴史を調べたり、沖縄との関わり・外国との関わりを調べたりし、種市の風土にあった農業を行う方々の思いを考える。(3学期)</p> <p>種市の森と海(14) ・森と海と人間が共存するために自分にできることを考え実行する。(海浜清掃)(植林) ・「未来に残そう青い海」をテーマに絵を描く。</p>											
親しむ	<p>・雑穀、米粉を使った「こびる」(郷土食)を試食する。(GT) ・全国の郷土食や稲作について調べる。 * 郷土食から、土地の自然環境や文化のちがいに興味をもたせたい。</p>											
知る	<p>・ひろのまきば天文台「天文教室」に参加 ・海浜清掃 * 洋野町を地形・自然環境・産業等の観点から大まかに捉えさせ、「海」と「森」をつながりを追究すべき課題とする。</p> <p>・「森は巡る」事業に参加 * 植林体験を通し、植物・生物・水・土・川・、、、多様な視点で種市(海側)と山側がつながっていることを捉えさせたい。</p> <p>・バケツ稲作体験(6~11月) ・やませ対策、水管理、品種改良について学ぶ(関連;社会科) * 稲作の苦勞・工夫をとらえさせたい。</p>											
守る	<p>・「未来に残そう青い海」をテーマに作品を作る。(関連;図工) ・海と森のつながりをレポートにまとめる。 * 海浜清掃、植林のように、自然環境を守るために自分ができることを考えさせる。</p> <p>・学習したことを発表原稿、ポスター等にまとめる。 ・発表会を行う。 * 発表を聞き合い、感想を交流することで学習成果を確かめさせる。 * 保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせえる。特に、4年生に引き継いでもらうための発表させたい。</p>											
活用する												

種市小学校 「総合的な学習の時間」(海洋教育) ストーリーマップ

1 全学年共通目標

「いわての復興教育 いきる かかわる そなえる」の理念を根底にしながら、海に生き、海とともに歩んできた洋野町の歴史や文化に「海に親しむ」「海を知る」「海を守る」「海を利用する」の4つの観点で目を向け「ひろの学」として統合することで、自分たちの生まれ育ってきた地域に誇りを感じ、たくましく生き抜くことができる子どもを育む。

2 6学年の重点目標

「ふるさと種市再発見」をテーマに、これまでの学習をふまえ、ふるさと種市を見つめ直す学習をするとともに、学習のまとめとして自分ができる活動を計画・実践する。

学期	1 学 期				2 学 期			3 学 期			備考	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1		2
	<p>「ふるさと種市—われら海の子—」 学年テーマ「ふるさと種市再発見」 ※ コンピュータリテラシー・各活動とリンク</p>											
単元名	<p>オリエンテーション(1)</p> <p>函館の海を知ろう(20) ・函館らしいものを調べたり体験したりし、歴史や文化を学ぶ。(10) ・函館と種市と比べて。(8)</p>				<p>種市の海・町 再発見(24) ・種市らしいものを調べたり体験したりし、歴史や文化を学ぶ。(10) ・函館見学で得た学習課題追究。(14) (海洋サミット参加をめざして)</p>			<p>ありがとうをつたえよう(10) ・今自分ができること。(感謝行動計画) ・これからの自分(ふりかえり)</p>				
親しむ	<p>・函館修学旅行の学習計画を立てる ・函館について事前学習(自然環境、産業、観光等) *種市との比較で函館の概要・特徴をつかませる。</p>											
知る	<p>・函館修学旅行(漁業・海洋施設見学、観光地散策) *実際に見学、散策して気づいたことや疑問に思ったことを追究課題につなげる。</p>				<p>・函館での学習をもとに「種市再発見」の課題を立てる。 *函館との比較をポイントに、共通点と相違点に着目させる。</p>							
守る					<p>・「種市再発見」をテーマに課題追究する。(調べ学習) *海洋サミットでの発表をめざす。 *種市の活性化、防災、PR、等につながる追究をさせたい。</p>							
活用する					<p>・海洋サミット参加する(代表者) ・海洋サミット報告会(4~6年) *自校の学習成果を確かめるとともに、他地域の実践から刺激を受けたり、学びとったりさせたい。</p>			<p>・学習のまとめとして自分に出来ることを実践する計画を立てる。 *実践の根底に学習できたことへの感謝、地域・学校への感謝を据えるように助言する。 ・感謝行動を実践。 ・実践のまとめを発表原稿、ポスター等にまとめる。 ・発表会を行う。 *発表を聞き合い、交流することで学習成果や自分たちの成長を確かめさせる。 *保護者、他学年等、相手意識をもたせて発表内容を考えさせる。</p>				